

令和4年度事業報告

I. 令和4年度の取り組み概要

令和4年度は、九州イノベーション創出戦略会議（KICC）構成機関の広域連携体制の下、新型コロナウイルスの感染防止対策に留意しつつ、オンライン、リアル、ハイブリッドを使い分け、年度計画どおりの事業を実施することができた。

例えば、総会・特別講演会、九州企業と九州域外企業とのニーズ・シーズのマッチング及びセミナーの実施、開放試験研究機器等データベースの更新、等を行った。

また、KICCの事業をより活性化させるために、事務局（国立研究開発法人産業技術総合研究所九州センター（産総研九州）、独立行政法人中小企業基盤整備機構九州本部（中小機構九州）、一般財団法人九州オープンイノベーションセンター（KOIC））が構成機関8機関を訪問し意見交換を実施した。

主な取り組みは、以下のとおりである。

1. KICC 構成機関のネットワーク
2. 九州企業と九州域外企業のニーズ・シーズのマッチング事業化支援
3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進
4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援
5. 成功報酬型コーディネータ事業との連携
6. 広報活動の実施

II. 個別の取り組み

1. KICC 構成機関のネットワーク

(1) 通常総会及び特別講演会の開催

- ・通常総会を開催し、令和3年度事業報告、令和4年度事業計画（案）等に関し所要の審議を行った。
- ・通常総会後に特別講演会を開催し、「オープンイノベーション白書」を策定するなど日本におけるイノベーション創出に取り組む国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からオープンイノベーションの最新動向等を、九州経済産業局から九州地域のオープンイノベーションの取り組み等をご講演いただいた。

① 通常総会

開催日：令和4年7月28日（木）

場 所：オリエンタルホテル福岡 博多ステーション（福岡市）

出席者：33名（委任状は除く）

② 特別講演会

聴講者：98名（会場 43名、オンライン 55名）

<講演1>

- ・テーマ：我が国のオープンイノベーションの推進と活用の視点
- ・講師：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
イノベーション推進部長 吉田 剛 氏

<講演2>

- ・テーマ：九州のポテンシャルとO I施策の展開について
～イノベーションの担い手は～
- ・講師：九州経済産業局 地域経済部 産業技術革新課長 山口 寛 氏

(2) 幹事会の開催

- ・幹事会は13名で構成。
- ・KICC事業の推進と円滑な運営を図るため幹事会を開催し、令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画（案）等を審議（書面）した。

(3) ネットワーク活動

- ・令和4年度末のKICC構成機関は62機関。
- ・構成機関の公募情報や取組みなどの情報発信を25件行った。
- ・KICC事業の活性化を目的に、事務局（産総研九州、中小機構九州、九州オープンイノベーションセンター）が工業技術センター、大学・高専、支援機関等の8機関を訪問し、KICC事業の紹介、開放試験研究機器等データベース、コーディネータ等の活用の活性化等に関する意見交換を行った。

項目	主な意見
開放試験研究機器等データベースについて	<ul style="list-style-type: none">・データベースの認知度が低く、各機関内部または企業での活用は少ない・データベースを実際に活用し、企業へも紹介している・自機関に機器等が無い場合には公設試等の横のつながりで問い合わせることがある・毎年の更新作業にかなりの負担がある
コーディネータのネットワークについて	<ul style="list-style-type: none">・KICC登録コーディネータ^{※2}をよく知らないし活用もしていない・従来から知っているコーディネータの横のつながりで連携している・コーディネータの交流等の機会はあったが方が良い
企業やKICC構成機関からの技術相談サービスについて	<ul style="list-style-type: none">・相談の記入様式が細かすぎる・自機関では簡単な内容で相談を受け付け、ヒアリングで具体的な内容を確認している

	<ul style="list-style-type: none"> ・ KICC の存在や支援機関のイメージが企業に浸透していない ・ 企業から相談があっても機微なことなので、KICC の他機関に照会し辛い
--	--

【意見交換】

実施時期：令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月

実施箇所：九州大学、宮崎大学、佐世保工業高等専門学校、福岡県工業技術センター、熊本県産業技術センター、大分県産業科学技術センター、公益財団法人北九州産業学術推進機構、株式会社久留米リサーチ・パーク

2. 九州企業と九州域外企業のニーズ・シーズのマッチング事業化支援

(1) オープンイノベーション・ソリューション・サイト (OISS) 等の活用による事業化の推進

- ・九州や九州域外の企業の技術課題（ニーズ）を発掘し、OISS サイトで公開。その課題を解決するソリューションを有する企業等とのマッチング事業として 153 件のニーズに対し、1 件のマッチングを支援した。
- ・なお、近年、OISS サイトはニーズ、シーズの登録が低調であることから、利用者の利便性向上を図るため、独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する「J-GoodTech (ジェグテック)」に発展的に統合させ、OISS サイトは 3 月 31 日に閉鎖した。

(件数)

区 分	九州サイト	リンカーズ	ナインシグマ	合計
ニーズ登録	2	118	33	153
シーズ登録	2	—	—	2
マッチング支援	0	1	0	1

(2) 具体的なニーズ・シーズのマッチング事業

- ・九州域外の大手企業が必要な技術や部材等のニーズを発表（オープン化）し、それに対し九州地域の中小企業等がシーズ等を提案し、マッチングを図ることで中小企業等の取引拡大等を支援する「技術ニーズ説明会」を開催し、5 機関からシーズの提案があった。

○大手企業技術ニーズ説明会 [サンスター株式会社]

開催日：令和 4 年 12 月 8 日（木）、オンライン開催

参加者：36 名

結 果：ニーズ紹介件数 16 件

シーズ提案件数 5 件（5 機関）

3. 開放試験研究機器等のデータベースの更新と活用の促進

- ・九州の各県公設試、大学・高専、産業支援機関等が整備している開放試験研究機器や、構成機関のコーディネータが一覧できるデータベースを運用した。
- ・また、最新のデータとするため、各機関の協力の下、追加・更新を行った。
- ・この結果、令和4年度末の開放試験研究機器データベースの登録は28機関1,848件となった。コーディネータデータベースの登録は31機関134名となった。
- ・なお、公設試のデータの更新等は、九州地方知事会（工業系公設試連携事務局）にご協力いただいた。

開放試験研究機器データベースの更新状況

機 関 名		R 3 年度末 登録件数	修正件数	削除件数	新規件数	R 4 年度末 登録件数
公設試	福岡県	228	45	10	13	231
	佐賀県	187	7	2	4	189
	長崎県	162	9	6	6	162
	熊本県	197	190	7	13	203
	大分県	148	62	9	6	145
	宮崎県	175	32	1	3	177
	鹿児島県	134	79	10	13	137
	小 計	1,231	424	45	58	1,244
その他	大 学	340	140	13	27	354
	高 専	41	18	1	0	40
	支援機関	208	37	1	0	207
	産総研	3	0	0	0	3
	小 計	592	195	15	27	604
合 計		1,823	619	60	85	1,848

開放試験研究機器の例

KICC 構成機関	開放試験研究機器	料 金
福岡県工業技術センター	精密熱分析装置	1,590円/時
佐賀県工業技術センター	残留応力測定装置	2,700円/件
長崎県窯業技術センター	除湿乾燥機	190円/時
熊本県産業技術センター	比表面積測定装置	1,200円/30分
大分県産業科学技術センター	粉体特性評価装置	800円/時
宮崎県食品開発センター	卓上型缶詰巻締め機	185円/時
鹿児島県工業技術センター	非接触式3次元スキャン装置	3,730円/時
佐賀大学	液体クロマトグラフ質量分析計	7,500円/回
熊本高等専門学校	全自動耐圧試験機	1,200円/1供試
久留米リサーチ・パーク	フーリエ変換赤外分析装置	2,200円/時

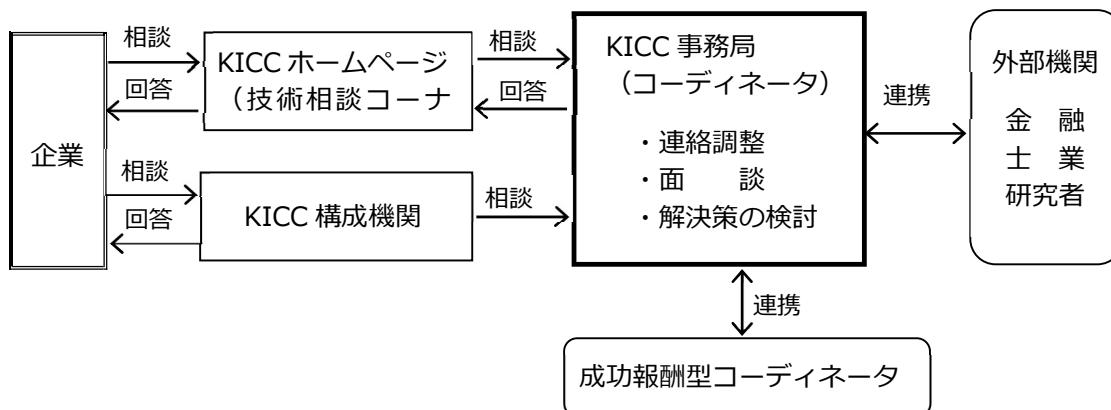
4. KICC 構成機関のコーディネータのネットワークによる企業の事業化支援

(1) 技術相談ワンストップサービス事業

- ・ KICC による技術相談のワンストップサービスを実施した。
- ・ 令和 4 年度の技術相談件数：計 7 件

相談企業の分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ ナノテク・材料・製造分野： 3 件 ・ 環境・エネルギー分野： 1 件 ・ その他機械工業： 3 件
技術相談と成果等	<ul style="list-style-type: none"> ①宮崎県の A 社 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備機械の異常感知に係る技術相談。福岡県企業とマッチング ②宮崎県の B 社 <ul style="list-style-type: none"> ・ カビの特殊分解洗浄の施工に係る技術相談。福岡県企業とマッチング ③福岡県の C 社 <ul style="list-style-type: none"> ・ E V の充電装置に関するマッチング技術相談

技術相談ワンストップサービスの仕組み



(2) オープンイノベーションセミナー

- ・ オープンイノベーションで新領域進出や新市場創出に向けた事業創造をサポートする事業の一環として、九州経済産業局、KOIC 等とセミナー「フォワード九州イノベーション～オープンイノベーションで切り拓く九州ジセダイX～」を主催した。

○ フォワード九州イノベーション

～オープンイノベーションで切り拓く九州ジセダイX～

開催日：令和 5 年 2 月 22 日（水）

場 所：FUKUOKA GROWTH NEXT（福岡市）及びオンライン

聴講者：252 名（会場 68 名、オンライン 184 名（延べ））

主なプログラム：

- ・ Keynote Speech eiicon company 代表 中村 亜由子氏
- ・ Demo Pitch スタートアップ・中小企業の4社
- ・ Talk Session Keynote Speech、Demo Pitch 参加者らによる
- ・ Reverse Pitch 支援機関等3機関

(3) 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデーへの参加

- ・九州経済産業局と産業技術総合研究所九州センターが主催、各県公設試、KICC等の共催により、最新技術情報を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー（令和4年1月22日開催）」に参加し、KICCの紹介等を行った。

(4) 宮崎大学産学・地域連携センター 第29回技術・研究発表交流会への参加

- ・宮崎大学産学・地域連携センターが主催する「宮崎大学産学・地域連携センター 第29回技術・研究発表交流会（令和4年9月2日開催）」にポスター展示を行い、KICC事業の紹介を行った。

5. 成功報酬型コーディネータ事業との連携

- ・KOICでは、中小企業の新製品・サービスやビジネスモデルの開発と事業化、販路開拓や取引の拡大、技術開発や知財取得等を成功報酬型契約に基づき、伴走型で支援する「成功報酬型コーディネータ事業」を平成27年度から実施している。
- ・KOICでは、KICC構成機関に寄せられたニーズとのマッチング、事業化へのアドバイス等で、要望により成功報酬型コーディネータが連携する用意をしている。
- ・なお、令和4年度の連携実績はなかった。

6. 広報活動の実施

- ・KICCのWebサイト等を通して、ニーズ・シーズ、開放試験研究機器、支援政策等の情報、大手企業のニーズ説明会、各種イベント情報等の広報を行った。

Ⅲ. 決算額

件名	支出額 (千円)	項目
総会	626	会場費
開放機器DB更新	358	委託費
旅費・通信運搬費	129	意見交換旅費、他
合計	1,113	

以上